LOAS

マウスユーティリティⅡ
取扱説明書

⚠ 重要

本取扱説明書は、マウスユーティリティCDーROMの為の取扱説明書です。ご使用の前に本書をよくお読みになり正しくお使い下さい。
また、お読みになった後も大切に本書を保管して下さい。

◆もくじ

◆はじめに ・・・ 3

- ●特徴
- ●本ソフトウェアが対応するマウス
- ●対応するオペレーティングシステム

◆インストールの方法 ・・・ 4

◆本ソフトウェアの使用方法 ・・・ 5

◆マウスユーティリティ
各種機種の説明と設定方法 ・・・ 6

- ●デバイスの設定　タブ ・・・ 6
- ●機能オプション　タブ ・・・ 8
- ●メール着信でイルミネーション機能を使用する ・・・ 10
- ●ユーティリティ　タブ ・・・ 12

◆その他の機能について ・・・ 17

◆アンインストールの方法 ・・・ 18

◆各ボタンに割り当て可能な機能一覧 ・・・ 19

◆(プログラム等の)場所の調べ方 ・・・ 20

◆アニメーションカーソルの保存場所 ・・・ 21

◆アニメーションカーソル　その他のご注意 ・・・ 21

◆トラブルシューティング ・・・ 22

◆製品のサポート ・・・ 23

◆ はじめに

● 特徴

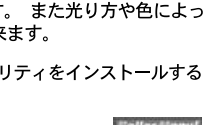
本ソフトウェア“ロアス マウスユーティリティ”は、ご使用のロアス製ホイールマウス、サイドボタン付ホイールマウスに様々な機能を追加する事ができます。

＊ ホイール本来の機能“縦方向スクロール”に加え、横方向のスクロールが可能！ 表計算ソフトで威力発揮！!
＊ よく使用するショートカットを集めた“ローラーメニュー”で、手軽にアプリケーションを起動！ またユーザー任意の設定も可能。
＊ 設定した時間になると、マウスポインタが色々なアニメーションに変化して知らせてくれる、“お知らせポインタ” 搭載！
＊ スクロール方向自由自在、“8方向オートスクロール”！

バージョン2.X からの新機能

＊ 5ボタン/4ボタンマウスにも対応。
メールやブラウザなどのアプリケーションの起動・キーボードのキーの登録など etc....。サイドボタンに様々な機能を割り当てることが出来ます。
＊ eメール着信お知らせ機能を追加。 この機能に対応するマウスと一緒に使用すると、メールが着信した時マウスのホイール又はその他の部分が光ります。 また光り方や色によって着信相手を6分類する事が出来ます。

その他様々な設定が、本マウスユーティリティをインストールする事で可能になります。



● 本ソフトウェアが対応するマウス

弊社ホイールマウス全般 （3ボタン～5ボタンマウス）

※eメールお知らせ機能(イルミネーション機能)に対応するマウス
・MUS-UBF03シリーズ ・MUS-UKF03シリーズ
・MUS-UBT13シリーズ ・MUS-UKT13シリーズ

● 対応するオペレーティングシステム

Windows 98 、Me 、2000 、XP

◆インストールの方法

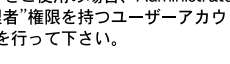
まず始めに、マウス本体の取扱説明書をご覧になって、
パソコンにマウスを接続して下さい。その後に、本ソフトウェアのインストール作業を行って下さい。

⚠注意：本ソフトウェアをインストールする前に、他に起動している全てのアプリケーションを終了させて下さい。
（インストール終了後に再起動が必要となります。）

⚠重要：もし、既に他社製のマウスドライバ・ユーティリティが入っていた場合、必ず本ソフトウェアをインストールする前にそのドライバのアンインストールを行って下さい。アンインストールせずインストールすると動作が不安定になります。

Windows2000またはWindowsXPをご使用の場合、“Administrator”権限または“コンピュータの管理者”権限を持つユーザーアカウントでログオンしてインストールを行って下さい。

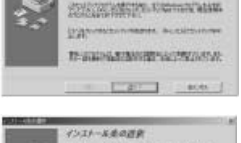
Ⅰ. CD-ROMをCDドライブに挿入すると自動的にインストールが始まります。



ご使用のパソコンの設定によっては、自動で開始しない場合もあります。その場合はマイコンピュータのCDドライブを開き、その中のSetup.exeをダブルクリックして下さい。

Ⅱ. “次へ＞”を押して下さい。

Ⅲ. この画面ではインストールするフォルダの指定ができますが、あまりコンピュータに詳しくない方は、そのままの状態で、“次へ＞”を押して下さい。



Ⅳ. “次へ＞”を押して下さい。

Ⅴ. この画面で“次へ>”を押すと、必要なファイルをハードディスクにコピーします。

Ⅵ. この画面になるとインストールは完了です。
CD-ROMをCDドライブより取り出し、“はい、ただちにコンピュータを再起動します”を選択して、終了ボタンを押して下さい。

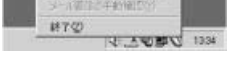
⚠ 注意：インストールは、一度行えば次からは必要ありませんが、オペレーティングシステムを再インストールした時等はもう一度必要となりますので、本CD-ROMは大切に保管しておいて下さい。
また、本ソフトはWin98、Me、2000、XP用です。他のオペレーティングシステムにはインストールしないで下さい。

◆ 本ソフトウェアの使用方法

● コンピュータを起動すると、自動的に本ソフトウェアが常駐します。
（常駐している時は右図のように、タスクバー上にアイコンが表示されます。）
このアイコン上で、ダブルクリックをするとマウスのプロパティを開く事が出来ます。

● 常駐を解除させたい時は、アイコンの上で右クリックを押して下さい。右図のようにメニューが表示されますので、このメニューの終了を選択すると、常駐を終了します。

● 常駐を終了して、再度常駐させたい時は“スタート”→“プログラム”から“ロアス”を選択して下さい。その中から右図のように、ロアス マウスユーティリティ 2.0をクリックすると常駐を開始します。
なお既に常駐している時にこの動作を行うと、マウスのプロパティを開きます。



◆ マウスユーティリティ 各種機能の説明と設定方法

本ソフトウェアをインストールするとパソコンのマウスのプロパティに、3つのタブを追加します。追加されているタブには、マウスのアイコンが付いています。

＊ デバイスの設定
接続しているマウスに関する設定を行うタブです。

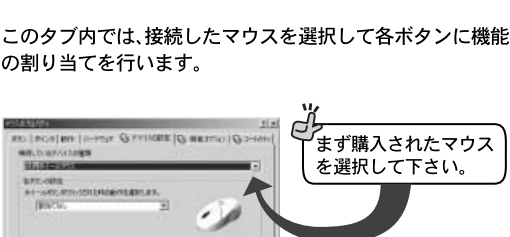
＊ 機能オプション
ホイールやイルミネーションに関する設定を行うタブです。

＊ ユーティリティ
アプリケーション“ローラーメニュー”や“お知らせポインタ”等の設定を行うタブです。

⚠ 注意：マウスプロパティの画面は、インストールするパソコンの機種やOSによって、タブの種類や数、また画面サイズも異なります。本取扱説明書の画面は、Windows2000を使用する標準的なパソコンでインストールした時の画面です。

“デバイスの設定”タブ

このタブ内では、接続したマウスを選択して各ボタンに機能の割り当てを行います。



接続したマウスが一覧にない場合、“汎用ホイールマウス”を選択して下さい。

次に、各ボタンに機能の割り当てを行います。

例　ホイールマウスが選択された場合

ホイールは、回して画面を上下に移動させるだけではなく、押す事も可能です。(ボタンになっています)
押した時にどのように動作させるかは、ユーザー任意の設定が出来ます。

例　サイドボタン付マウスが選択された場合

ボタンによって選択できる機能は少し違います。
詳細は19ページの“各ボタンに割り当て可能な機能一覧”をご覧下さい。なお、“割り当てなし”に設定すると、ボタンを押しても何も動作しません。

●詳細設定のボタン

各ボタンの設定で割り当てを行う、“WWWブラウザの起動”や“メールソフトの起動”を、他の任意のソフトに指定することが出来ます。

初期設定では、Microsot社のInternet Explorer及び、Outlook Expressに設定されています。

"機能オプション" タブ

●スクローリングの設定

ホイールを回転させると、通常画面が上下に移動します。
（これをスクロールと言います。）
このスクロールのモード設定を行います。

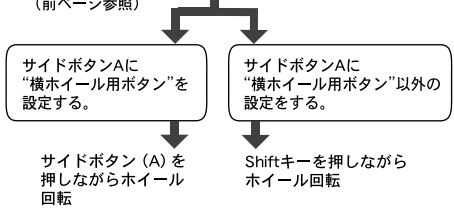
“Office97互換モード” とは？
Windows 98、Me、2000では、通常画面のスクロールサイズは３行固定で変更が出来ません。(Windows XPでは、サイズを変更できる画面があります。)
また画面のスクロールは、フォーカスのあるウィンドウに対して動作します。

“ロアス オリジナルモード” とは？
画面のスクロールさせるサイズを自由に変更出来ます。(但し、プレビュー画面等でも、この設定したサイズでしかスクロールできなくなります。)
また画面のスクロールは、マウスカーソルの下のウィンドウに対して(フォーカスの移動をせずに)動作するようになります。
注意:Windows XPをご使用の方は、ロアスオリジナルモードに設定する事が出来ません。

●横スクロールの設定

本ソフトのオリジナル機能です。
ここにチェックをつけると表計算ソフトなど、横にも画面が移動できるアプリケーションソフトで威力を発揮します。

ホイールマウスでは、“Shiftキーを押しながらホイール回転”でしか横スクロールができませんが、サイドボタン付マウス（Restu105シリーズ等）では、“サイドボタンを押しながらホイール回転”でも横スクロールさせる事が出来ます。

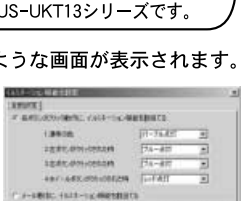


●イルミネーション機能の設定

イルミネーション機能搭載マウスをご使用の場合、この設定を行う事が出来ます。
（ボタンが有効になります。）

イルミネーション機能搭載マウスとは？
マウスのホイールやその他の部分が、３色以上で光る機能を搭載したマウスの事を言います。 弊社マウスの型番では、
MUS-UBF03シリーズ 、MUS-UKF03シリーズ 、
MUS-UBT13シリーズ 、MUS-UKT13シリーズです。

設定ボタンが押されると次のような画面が表示されます。



まず始めに、このイルミネーション機能は“ボタンのクリックで光らせる”か、“メールの着信が有ったら光らせる”、の２つのうちどちらかで使用する事になります。
初期設定では、“ボタンのクリックで光らせる”ように設定されています。

Point !

そして、メール着信にイルミネーション機能を割り当てた場合は、メールの着信時に光るだけではなく、相手によって色分けもできるので、マウスが誰からのメールかを知らせてくれます。

メール着信でイルミネーション機能を使用する

メール着信のお知らせで、このイルミネーション機能を使用するためには様々な設定を行う必要があります。
まず、メール着信にイルミネーション機能を割り当てると、タブが２つ現れます。

この２つのタブをそれぞれ開き、詳細設定を行って下さい。

●メール確認の接続方法　タブ

このタブ内では、メールサーバーへの接続方法や着信確認を行う時間の間隔を設定します

パソコンにダイアルアップ接続自体の設定がされていない場合は、こちらを選択する事はできません。

☑ ネットワーク接続(LAN)を使用
メールサーバーの接続にLAN接続を使用されている場合、こちらを使用します。 確認は、設定した分間隔で自動的に行います。
設定可能間隔：1 分～360分

ダイアルアップ接続(電話回線)の方は、下記３種類の方法があります。

☑ 自動では接続しません
既に、インターネット閲覧等でダイアルアップ接続を行っていた場合にのみ、設定した分間隔でメール着信の確認を行います。
設定可能間隔：1 分～60分

☑ 時間指定で自動確認
ダイアルアップ接続を行う時間を指定します。1 日に 1 回だけの確認を行いたい場合に、これを使用します。
設定可能間隔：00時00分～23時59分

☑ 一定間隔で自動確認
１日に複数回の確認を行いたい場合に、これを使用します。
設定可能間隔：1時間～12時間

⚠注意：ダイアルアップ接続（電話回線）でメールサーバーに接続する方で、“時間指定で自動確認”または“一定間隔で自動確認”に設定すると、その設定内容に従い自動的に電話をかけますので、注意して設定して下さい。
但しこれは、コンピュータの電源が入っていて、なおかつ本マウスユーティリティが常駐している時のみ、自動接続します。

●メール着信対象の設定　タブ

このタブ内では、「誰からのメールが着信した時に、どのような色で光らせるか？」の、設定を行っていきます。

分け方は、着信相手や受信メールサーバーに対しても分ける事が出来ます。
これらは“グループ”として登録しておいて、登録のない相手から着信した場合も含めて、6分類（6グループ）に分ける事が出来ます。

※ グループの設定内容

任意のグループ（1～5）のどれかを指定して、設定ボタンを押して下さい。

右のような画面が表示されたら、各項目の入力を行って下さい。

◆：グループ名
任意の名前に書き換え可能です。

◆：受信メールサーバーの各設定
ご使用のメールサーバー名、メールアカウント名、そのメールアカウントで使用しているパスワードを、それぞれ入力して下さい。
⚠ 注意：このソフトでは、POPサーバーのみに対応しています。

◆：イルミネーション機能のカラー設定
このグループ内で設定した相手からメールが着信した時、ホイールのランプをどの色で光らせるか（光らせないか）の設定です。

◆：お知らせポインタも連動させる
このチェックBOXにチェックを入れると、お知らせポインタでもメールの着信があった事を知らせてくれます。 “一覧より指定”を選択すると、他の種類のアニメーションカーソルを選ぶ事も出来ます。（21ページもご覧下さい。）

◆：お知らせする着信相手（アドレス）の設定
着信時にお知らせしたい相手のアドレスを入力して下さい。アドレスは、～.co.jpまで入力して下さい。　　例：namae@loas.co.jp

※“登録していないアドレスから着信した時”の設定

グループに登録していないアドレスに対してもお知らせする事が出来ます。

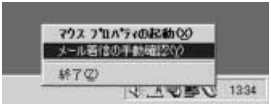
この場合の受信メールサーバーは、グループ1～5で設定している全ての受信メールサーバーの確認を行います。
従って、この登録のないアドレスに対してお知らせさせたい場合は、最低でもどれか1つのグループに(グループ1～5どれでも可)、受信メールサーバー、アカウント、パスワードの登録を行っておいて下さい。

設定が終わると、表示した全ての画面の“OK”ボタンを押し、画面を閉じて下さい。
これで設定した相手からメールが届くとイルミネーション機能が作動します。

なお、メール着信でのイルミネーション機能の解除方法は、“ホイールボタンを押す”事でキャンセルされます。

●メール着信の手動確認

メール着信の確認は、設定した時間以外に手動でも確認する事が出来ます。
タクスバー上のアイコンを右クリックすると右記のようにメニューが表示されますので、“メール着信の手動確認”をクリックして下さい。



手動確認の場合のみ、右記のようなメッセージBoxを表示します。

“ユーティリティ” タブ

このタブでは、オリジナル機能の“ローラーメニュー”と“お知らせポインタ”、及びタスクバーでのアイコン表示/非表示の設定を行います。

● ローラーメニューについて

この機能は、ユーザーが設定した様々なアプリケーションやフォルダを、手軽に起動/開くことの出来る機能です。

◆ 使い方

1. まずどれかのボタンに、“ローラーメニュー”を割り当てて下さい。（7ページ参照）
2. 割り当てたボタンをクリックする（押す）と、ローラーメニューが表示されます。
3. メニューを表示させた後ホイールを回転させると、下記3つの画面でメニューが切り替わります。

画面1 －Pre SET－

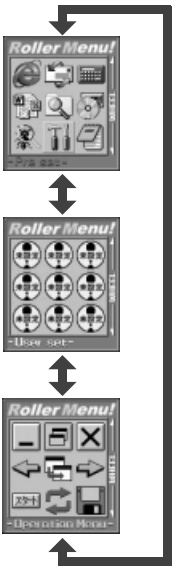
- Internet Explorerの起動
- Outlook Expressの起動
- 電卓の起動
- マイドキュメントを開く
- ファイルエクスプローラーの起動
- CDプレイヤーの起動
- 拡大鏡の起動
- コントロールパネルの起動
- メモ帳の起動

画面2 －User SET－

この場所はユーザーが任意に設定できます。
（設定方法14ページ参照）

画面3 －Operation Menu－ （注1）

- Windowの最小化
- Windowの元のサイズに戻す
- Windowを閉じる（又はWindowの終了）
- 元に戻す （注2）
- Windowの切り替え （注3）
- やり直し （注4）
- Windowスタートの表示
- 最新の情報に更新
- 上書き保存



注1： Operation Menuはアクティブになっているwindowに対して動作します。従ってそのWindowにはない項目を選択しても動作しません。（例 メモ帳を編集中に、“最新の情報に更新”ボタンを押しても何も動作しません。）

注2： “元に戻す”と“一つ前に戻る”の機能は異なります。

注3： Windowを複数開いていても、直前に開いたWindowとそのひとつ前に開いたWindowとの切り替えになります。

注4： “やり直し”と“一つ前に進む”の機能は異なります。

4.次にマウスポインタを希望するアイコンの上に移動させクリックを行うと、そのソフト/コマンドが起動します。

◆ユーザーセットの設定方法

ユーザーセットに、希望するショートカットを設定するには、

1.マウスのプロパティを開き、“ユーティリティ”のタブを開いて下さい。

2.“ローラーメニューの設定”内の、設定ボタンを押して下さい。

3.このような画面になれば、①～⑨任意の 未設定 の場所を選択して、“設定”ボタンを押して下さい。

4.2つの設定タイプがあります。“プログラムやフォルダのショートカット”と“Windowsコマンドのショートカット”が作成できます。

ここでは、“プログラムやフォルダのショートカットの作り方を説明します。

5.ショートカットを作成したいプログラムやフォルダを、“登録”の場所にドラッグ＆ドロップして下さい。

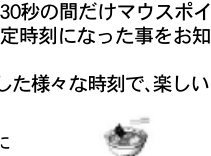
詳しい方法は、ページ20もご覧下さい。

注意：参照ボタンではプログラムしか指定できません。

6. 任意の名前を付けて、“次へ>”を押して下さい。

7. この画面になれば“完了”ボタンを押して下さい。ユーザーセットに登録されます。

＊ 設定を削除したい時は、削除したい番号にあわせ“削除”ボタンを押して下さい。



● お知らせポインタについて

この機能は、設定した時間になると30秒の間だけマウスポインタがアニメーションに変化し、指定時刻になった事をお知らせするユーティリティです。
昼休みや終業時刻、また任意に設定した様々な時刻で、楽しいお知らせをしてくれます。

＊ なお、30秒で自動的に元のマウスポインタに戻りますが、早く戻したい場合右クリックで戻ります。

◆ 使用方法

まずこの機能を使用するためには、マウスのプロパティの“ユーティリティ”タブを開いて、“お知らせポインタを使用する”にチェックを付けて下さい。
さらに横の設定ボタンを押すと、詳細な設定画面に入ります。(次ページ参照)

◆ 設定方法

設定可能な項目は１５種類あります。リストより任意の１つを選択して、設定ボタンを押して下さい。

※ 詳細設定画面

項目名: “ユーザー設定①～⑩”の項目は、任意の名前に変更することが出来ます。

起動時刻: マウスカーソルがアニメーションカーソルに変化させる時刻を指定します。

ポインタの選択: 設定した時刻に表示させるお知らせポインタ(アニメーションカーソル)を選択します。

アニメーションカーソルは、本ユーティリティソフトをインストール時に7カテゴリ/合計65種類のアニメーションカーソルがインストールされています。 その中からご自由に選択してお使い下さい。
またアニメーションカーソルは、ユーザーが作成・またはダウンロードした物も使用できます。

さらに下記４種類の項目では、ここで“規定の設定”にしておき、それぞれ定まった場所に自作のアニメーションカーソルを入れておくと、毎日ランダムで表示するようになります。

※始業時間 ・・・¥asaフォルダ内のものをランダムで表示
※昼食時間 ・・・¥tabemonoフォルダ内のものをランダムで表示
※休み時間 ・・・¥yasumiフォルダ内のものをランダムで表示
※終業時間 ・・・¥yuugataフォルダ内のものをランダムで表示

（21ページ、“アニメーションカーソルの保存場所”もご覧下さい。）

☑ この項目は使用しない:
このチェックBoxにチェックを入れると、この項目の設定ではお知らせポインタを起動させません。

その他の機能について

● 8方向マルチスクロールについて

どれかのボタンにこの設定を行っていた場合、スクロールが可能なアプリケーション上でこの機能を使用する事ができます。

◆ 使用方法

1. スクロール可能なアプリケーション上で、設定したボタンを押して下さい。図1のようなカーソルが表示されます。

図1

2. 次にマウスを移動させたい方向に動かして下さい。図2のようなカーソルが現れ、そのカーソルの向きに画面が移動します。

図2

3. 図1と図2の距離が長ければ長いほど、画面の移動するスピードが早くなります。

● アプリケーションの切り替え

アプリケーションを複数開いている場合、タスクバーにマウス カーソルを移動させて選択しなくても、この機能で手軽に切り替える事が可能です。

注意：この機能は、ホイールボタンにしか割り当てる事が出来ません。

◆ 使用方法

1. まず、ホイールボタンに“アプリケーションの切替”を設定して下さい。

2. ホイールボタンを押して下さい。右図のような画面が表示されます。この時、ホイールボタンは押したままにして下さい。

3. ホイールを押したまま回転させて、再表示したいアプリケーションまで“□”印を移動させて下さい。

4. 押した状態のホイールを放して下さい。放した場所のアプリケーションが再表示されます。

◆ マウスユーティリティのアンインストール(削除)

本ソフトウェアをパソコンから削除したい場合、下記手順に従ってアンインストールを行って下さい。

1.スタート → プログラムからロアスを探して下さい。その中から下図を参考に“アンインストール マウスユーティリティ”をクリックして下さい。

2.右図のような画面になれば“次へ>”を押して下さい。アンインストールが始まります。アンインストールを中止したい場合はこの時点で“キャンセル”を押して下さい。

3.この画面になれば完了です。“完了”ボタンを押して下さい。

◆ 各ボタンに割り当て可能な機能一覧

No.	機能名	備考
1	割り当てなし	
2	８方向マルチスクロール	17ページ参照
3	ローラーメニュー	13ページ参照
4	ダブルクリック	
5	Windowをすべて最小化	
6	現在使用中のアプリケーションのみ最小化	
7	前に戻る	
8	次に進む	
9	メールソフトの起動	7ページ参照
10	WWWブラウザの起動	7ページ参照
11	スクリーンセーバーの起動	
12	ファイルエクスプローラーの起動	
13	検索画面の起動	
14	拡大鏡の起動	
15	アプリケーションの切替	17ページ参照
16	マイドキュメントを開く	
17	フロッピーディスクを開く	
18	IMEの切替	＊注1
19	切り取り(Cut)	
20	コピー(Copy)	
21	貼り付け(Paste)	
22	Ctrl	キーボードキー
23	Alt	〃
24	Shift	〃
25	Esc	〃
26	Insert	〃
27	Home	〃
28	End	〃
29	Page Up	〃
30	Page Down	〃
31	F1	〃
32	F2	〃
33	F3	〃
34	F4	〃
35	F5	〃
36	F6	〃
37	F7	〃
38	F8	〃
39	F9	〃
40	F10	〃
41	F11	〃
42	F12	〃
43	横スクロール用ボタン	サイドボタンAのみ割付可

*注1：IMEとはWindows標準でインストールされている、
Microsoft社の漢字入力システムの事です。

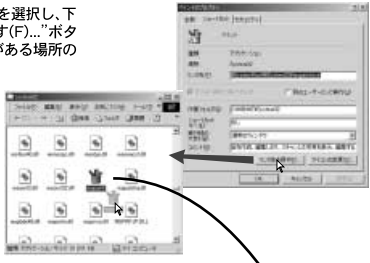
◆（プログラム等の）場所の調べ方

ローラーメニューのユーザーセットに登録を行う時、登録したいプログラムやフォルダは、それらが存在する場所から指定させる必要があります。
（デスクトップ上に作ったショートカットからでは、ドラッグ＆ドロップできません。）
デスクトップ上にあるショートカットやスタート>プログラムメニューにあるプログラム等からそれらの場所を探したい時は、プロパティ画面を表示させ“リンク先を探す(F)...”ボタンを押すと、その場所がわかります。

例えば、スタートメニュー内にある“ペイント”プログラムが在る場所を調べたい時は...

1.スタート → プログラムから“ペイント”を探し、その上で右クリックをして下さい。 サブメニューが表示されます。
その中から、“プロパティ”をクリックして下さい。

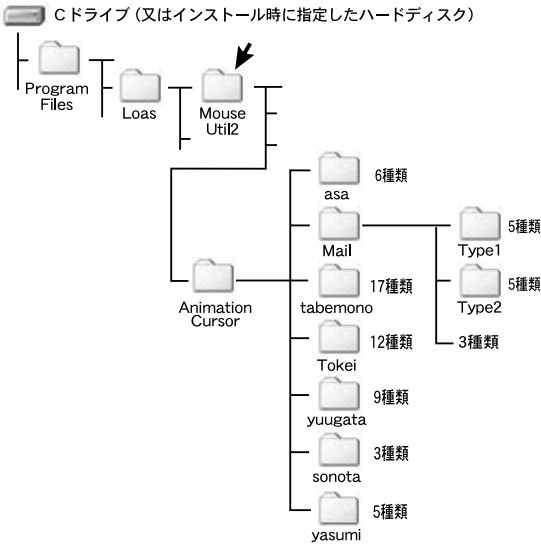
2.“ショートカット”タブを選択し、下にある“リンク先を探す(F)...”ボタンを押すと、ペイントがある場所のフォルダが開きます。



3.このアイコンを、右記画面の[登録]の場所へドラッグ＆ドロップして下さい。

◆ アニメーションカーソルの保存場所

まず、本ユーティリティソフトのインストール場所は、“Mouse Util2”フォルダにインストールされます。



Mouse Util2フォルダには様々なファイルと共に、Animation Cursorフォルダがあります。そのフォルダに、上記のように展開されています。

◆ アニメーションカーソル　その他のご注意

メール着信でのお知らせポインタ（アニメーションカーソル）は、複数の登録先から同時にメールが着信した時、複数着信専用のアニメーション（¥Mailフォルダにあるmail6.ani）になります。

◆ トラブル シューティング

Q. スクロールサイズを変更しても、移動量が変更にならない。
また本ソフトの常駐を解除しても、移動量が初期値に戻らない。

A. 以前に、他社製のマウスドライバをインストールされてませんでしたか? そのドライバによって、システムの初期値が変更になっている場合があります。
このCD-ROMには、それを修正するプログラムを添付しておりますので、下記に従って実行してみて下さい。

方法: CD-ROMドライブを開くと、MUS_Changeというフォルダがあります。さらにそのフォルダを開くと、MUS_Chg.exeという実行ファイルがありますので、これをダブルクリックして下さい。
(このプログラムはWin 98,Me専用です。)

Q. ホイールを回しても画面が移動しない。

A. 一部のアプリケーションでは独自のスクロール機能を用いている為、ホイールによる画面移動がしないものもあります。その場合は、ご使用のアプリケーションの説明書に従って操作して下さい。

Q. ソニーVAIOシリーズのノートパソコンをお使いの方へ

A. ソニー製VAIOシリーズのノートパソコンに本ソフトウェアをインストールされた後、下記現象が起こった場合は、記載の方法を行って下さい。

症状: ローラーメニューを表示した後、ホイールが動作しない。
また、ホイールを回転してもローラーメニューの画面が切り替わらない。

1. "スタート"→"設定"→"コントロールパネル"の"アプリケーションの追加と削除"を開いて下さい。
2. "インストールと削除"のタブ(下図参照)内でSONY USB Mouseを探し、"追加と削除"のボタンを押して下さい。

この作業で弊社マウスユーティリティをご使用頂けます。

◆ 製品のサポート

商品に関するお問い合わせは、下記サポートセンターまで

ロアス サポートセンター
TEL 072－361－1830

《 受付時間 9:00～17:00 》【土・日・祝・祭日を除く】

弊社のホームページでは、製品の最新情報や製品の
アップデートファイルなどを随時公開しております。

ホームページアドレス：http//www.loas.co.jp

⚠重要：本マウスユーティリティは予告なくバージョン
アップする事があります。最新バージョンは随時
弊社ホームページで公開致します。

マウスユーティリティ　2.1
取扱説明書　MUSDR−C0306
2001 LOAS Co,.Ltd. All right reserved